

# 分割・民営化に決着を

## 東労組崩壊情勢

## 動労千葉・総連合に結集し共に闘おう



JR東日本が労使共同宣言の破棄を東労組に通告し、東労組の瓦解が劇的に進行しています。3月5日の動労千葉緊急総決起集会での田中康宏・動労千葉委員長の発言を紹介します。

30年職場を支配してきた東労組と会社の結託体制が完全に崩壊過程に入りました。もう一度思い起こさないといいけない。なぜ国鉄の分割・民営化ができたのか。動労・革マル、東労組が協力したからできた。30年間、仲間のクビを切られ、職場でも苦しめられた。あいつらがクビ切りの手先になら

### ここからが第三の分割・民営化との闘い 動労千葉・総連合本領発揮の時

なかったら、こんな現実じゃなかったことは確かです。

この連中だけは絶対に許しやしない。つぶさなやいけな。この現実の中であらためて気持ちを固めた

特に、清算事業団に送られた12人の仲間のクビを切れと最後の段階で要求したのはJR総連・東労組(改革労協)だった。国鉄当局は、法律で決めた採用人数を下回った以上、本州は全員採用せざるを得ないと記者会見をやった。それに対して改革労協は大会まで開いて緊急決議をあげ「採用枠を見直してクビを切れ」と要求した。

腐った当局と腐った組合が職場を支配してきた。こんな連中が30年間統治してきた。決意を固めてつぶさなやいけな。

結局、国鉄分割・民営化で労働組合に何が起きたのか。あの攻撃の中で、国労みたいな運動はすべて崩れ落ちた。共産党的、社会党的な運動もすべて崩壊した。総評も解散した。

こういふ状況であるほど、これまで歩いて来たとおり動労千葉は労働者の団結だけに依拠する。革マルのように会社・当局に依拠したり、国労のように社会党に依拠したり、他人に頼って労働組合を守ってくれじゃダメなんです。

### 団結に依拠した闘いだけが通用する道だった

高崎地本も地本丸ごと脱退すると言っている。しかし脱退を決める大会も招集できない。新潟も同じ。完全に崩れ落ちている。これが東労組だった。

問題は、「ざまあみろ」では済まないことです。休憩所などに監視カメラが設置され始めた。音声も拾える。こんな職場で働くことを考えてほしい。長時間運転して休憩所に戻った運転士が何をし、何をしゃべって

いるか、監視される。国鉄分割・民営化のときも動労千葉の組合員がいる職場で監視カメラをつけた。それでもカメラを付けたのは庁舎玄関と組合事務所だけで、少なくとも休憩室にはつけなかった。

ようするに、会社が東労組を切つてこういう職場をつくらうということ。この現実の中で働けますか？ 奴隷労働だ！ この現実と闘わなきゃいけない。休憩所ですよ。息もできない。東労組をつぶして会社が狙っているのはこういうことなんだと東労組の組合員に訴えていきたい。



これが今の東労組だった

「組合員は不信ばかり」「臨時大会を開け」。地本ぐるみでこういう議論。この背後に会社

### 外房線の切り捨てに反対！

#### 3・10勝浦に200人が結集

3月17日のダイヤ改正で外房線の茂原以遠の列車が5本削減されることに反対し勝浦市内で「外房線切り捨てのダイヤ改正と今後の地域の発展を考える集い」が開かれました。近隣市町から約200人が参加、大勢の立ち見が出るなど盛況となり、新聞でも報道されました(上)。

JR東日本の地域を無視したやり方に対して1月、地元の市

た。少なくとも動労千葉の被解雇者12人は東労組・革マルがいなければ、いまJRの職場にいる。ひとたび当局の奴隷になった人間・組合・組織がどれほどみじめなのか。会社の手のうちで生きてきたから、結局、会社から用済みになるとすべてが崩れていく。

勝浦市人口は最大3万2千人から1万7千人に減少するなど人口減少は深刻な状況です。すでに市内には高校が1校もない状況であり、通勤・通学、通院の大切な手段である列車が5本も削減されれば地域の過疎

化は必至です。強い危機感が200人の参加となった集会は、地元自治体とも連携しながら署名活動などを通して国やJR東日本に働きかけていくことを決めました。

藤平さんは「人口減少が進む中、列車削減は地域の消滅に拍車を掛ける。更なる削減には絶対反対だ」と訴えました。

内房線・外房線沿線では、地元住民や労組、動労千葉などが結集し、大きな運動に発展しています。ローカル線切り捨てを阻止へ闘おう。

(裏面に続く)

天気 洗濯花粉 紫外線  
3 4 2  
3 4 1

外房線「削減に反対」  
「外房線が日本の外房線の歴史を...」

### 国鉄闘争に戦争と改憲をとめる力

## 2・16関西国鉄集会在大成功

国鉄闘争全国運動・関西は2月16日、大阪・浪速区民センターで関西国鉄集会を開催し、1500人が結集しました。集会は、切迫する朝鮮侵略戦争を国鉄闘争のさらなる発展で阻止することを宣言しました。

司会は、八尾北医療センター労働組合の青年労働者がつとめました。基調報告は、動労西日本近畿支部長の原田隆司さん。

「国家に不当労働行為を認めさせよう」と締めくくりました。

動労西日本の東元さんは、動労西日本の福知山、広島島の2波にわたる春闘ストへ向けた決意を表明しました。

関西合同労組からは黒瀬博匡委員長と中川いくこ泉州支部書記長が登壇し、中川さんは5月泉佐野市議選勝利に向けて熱烈なアピールを発しました。

大阪市職、高槻医療福祉労組の決意表明に続いて、港合同の中村吉政委員長が、橋下の不当労働行為、支配介入を追求する闘いが今も続いているが「その根底にあるのは国

鉄闘争であり、大きな成果をつかんでいる。労働組合が前に立つて闘うことで戦争を止められる」と力強く発言しました。

最後に、組織破壊攻撃と闘う関西地区生コン支部への激励・連帯として「関生支部のゼネストを断固支持し、大阪広域協組・警察権力・在特会による関生支部攻撃を弾劾し、ともに闘い勝利を勝ち取ります」

国鉄闘争全国運動のさらなる発展をめざして18春闘ー3・25改憲・戦争阻止大行動の成功を全力で闘います。

2・11国鉄集会では、国鉄のみならず労働者階級全体にかけられている「働き方改革」という労働組合破壊・総非正規化攻撃に対して、全国津々浦々から反響の報告がなされ、階級闘争の前進が肌で感じられた集会でした。

また、動労総連合1047協議会と動労千葉議団の解雇撤回闘争も新たな闘いを開始しました。国家が維持できないほど

利する決議」を採択しました。集会のまとめを動労西日本の橋日出夫さんが行い、「ゼネストをたくり寄せ、数千万の労働者の決起を作ろう」と締めくくりました。

国鉄闘争全国運動のさらなる発展をめざして18春闘ー3・25改憲・戦争阻止大行動の成功を全力で闘います。

2・11国鉄集会では、国鉄のみならず労働者階級全体にかけられている「働き方改革」という労働組合破壊・総非正規化攻撃に対して、全国津々浦々から反響の報告がなされ、階級闘争の前進が肌で感じられた集会でした。

また、動労総連合1047協議会と動労千葉議団の解雇撤回闘争も新たな闘いを開始しました。国家が維持できないほど

利する決議」を採択しました。集会のまとめを動労西日本の橋日出夫さんが行い、「ゼネストをたくり寄せ、数千万の労働者の決起を作ろう」と締めくくりました。

国鉄闘争全国運動のさらなる発展をめざして18春闘ー3・25改憲・戦争阻止大行動の成功を全力で闘います。

2・11国鉄集会では、国鉄のみならず労働者階級全体にかけられている「働き方改革」という労働組合破壊・総非正規化攻撃に対して、全国津々浦々から反響の報告がなされ、階級闘争の前進が肌で感じられた集会でした。

「労働者にはこれをひっくり返す力がある。動労千葉に結集してほしい」と声を大にして闘っていききたい。

東労組の東北3本本が出した声明は「本部の方針は間違っていない」「信頼は失われている」「みんな涙を流している」と言っている。そして「地域の廃線問題で地域の足どころか働く場がなくなる」と書いてある。沿岸線区はすべてワンマン化、外注化だぞうです。

でもそれは「こういう状況だ

「表面からの続き」

だけど30年経って現実を見れば、動労千葉がやってきたことだけが通用している。

だから、大変でもこの現実を

（表面からの続き）

乗り込んで東労組をつぶして、組織拡大をして、ダイ改を阻み、春闘に勝利する、千葉派出の削減を止める闘いに立ち向かっていきたい。

ここから第3の分割・民営化

攻撃が始まる。これに立ち向かう決意を固めなさいいけいけい。

乗務員で言えば、動労千葉以外は誰も言わない乗務手当の廃止が起る。検修の外注化は、僕らが必死に防波堤を築いて18年間。仕業検査、構内運転、派員業務が外注化されてくやしうけど、このレベルで止めてきた。でも、これで「生産性向上のためには分社化する」が始まる。それでいいはずはない。

東労組の組合員でもなんでも

### 闘いの旗を振る新たな決意

動労総連合九州委員長 羽廣憲

国鉄分制・民営化から31年、支配階級の労働組合破壊、労働者の団結の破壊はまだまだ貫徹できないでいます。

2・11国鉄集会では、国鉄のみならず労働者階級全体にかけられている「働き方改革」という労働組合破壊・総非正規化攻撃に対して、全国津々浦々から反響の報告がなされ、階級闘争の前進が肌で感じられた集会でした。

また、動労総連合1047協議会と動労千葉議団の解雇撤回闘争も新たな闘いを開始しました。国家が維持できないほど

利する決議」を採択しました。集会のまとめを動労西日本の橋日出夫さんが行い、「ゼネストをたくり寄せ、数千万の労働者の決起を作ろう」と締めくくりました。

国鉄闘争全国運動のさらなる発展をめざして18春闘ー3・25改憲・戦争阻止大行動の成功を全力で闘います。

2・11国鉄集会では、国鉄のみならず労働者階級全体にかけられている「働き方改革」という労働組合破壊・総非正規化攻撃に対して、全国津々浦々から反響の報告がなされ、階級闘争の前進が肌で感じられた集会でした。

また、動労総連合1047協議会と動労千葉議団の解雇撤回闘争も新たな闘いを開始しました。国家が維持できないほど

利する決議」を採択しました。集会のまとめを動労西日本の橋日出夫さんが行い、「ゼネストをたくり寄せ、数千万の労働者の決起を作ろう」と締めくくりました。

国鉄闘争全国運動のさらなる発展をめざして18春闘ー3・25改憲・戦争阻止大行動の成功を全力で闘います。

2・11国鉄集会では、国鉄のみならず労働者階級全体にかけられている「働き方改革」という労働組合破壊・総非正規化攻撃に対して、全国津々浦々から反響の報告がなされ、階級闘争の前進が肌で感じられた集会でした。

また、動労総連合1047協議会と動労千葉議団の解雇撤回闘争も新たな闘いを開始しました。国家が維持できないほど

利する決議」を採択しました。集会のまとめを動労西日本の橋日出夫さんが行い、「ゼネストをたくり寄せ、数千万の労働者の決起を作ろう」と締めくくりました。

国鉄闘争全国運動のさらなる発展をめざして18春闘ー3・25改憲・戦争阻止大行動の成功を全力で闘います。

2・11国鉄集会では、国鉄のみならず労働者階級全体にかけられている「働き方改革」という労働組合破壊・総非正規化攻撃に対して、全国津々浦々から反響の報告がなされ、階級闘争の前進が肌で感じられた集会でした。

また、動労総連合1047協議会と動労千葉議団の解雇撤回闘争も新たな闘いを開始しました。国家が維持できないほど

利する決議」を採択しました。集会のまとめを動労西日本の橋日出夫さんが行い、「ゼネストをたくり寄せ、数千万の労働者の決起を作ろう」と締めくくりました。

国鉄闘争全国運動のさらなる発展をめざして18春闘ー3・25改憲・戦争阻止大行動の成功を全力で闘います。

### 改憲・戦争阻止へ国鉄闘争の新段階

## 2・11国鉄集会 国鉄闘争の5本柱うちだす

国鉄闘争全国運動の呼びかけで「国鉄分制・民営化で不当解雇から31年ー2・11労働者集会を6300人の結集で開催することができました。戦争と改憲が迫る重大な情勢のもとで、あらためて国鉄闘争の意義を浮き彫りにする集会となり、そのことが具体的に結果と集会の熱気として表現されたことが何よりの総括です。

本集会において、2015年6月の最高裁決定に踏まえて、新たな労働委員会の開始を宣言しました。労働委員会に対する署名運動の取り組みも始まりま

す。1047協議会は、「共に闘う会」（仮称）と共にJR北海道・JR九州に対する署名運動を開始することを宣言しました。国鉄1047名解雇撤回闘争が、新たな具体的方針を確立して進むことを示した集会となりました。

呼びかけ人の金元重さんは、新たな労働委員会闘争につい

て、「労働運動として闘い、運動の力で労働委員会を動かそう」と提起しました。

集会には、内房線・外房線の切り捨てに反対する動労千葉と地域住民の闘いの息吹が反映され、さらには北海道から九州まで全国で満ちあふれる怒りを背景にして、あらためて国鉄闘争を先頭にして、この新自由主義崩壊の情勢に立ち向かい、労働運動再生をめざす道筋が示されました。

憲法と人権の日弁連を守る会の武内更一弁護士による日弁連会長選挙の報告に続き、動労千葉の田中康宏委員長が「改憲と核戦争を阻む戦後最大の決戦が訪れたからこそ、国鉄闘争の旗を高く掲げ、新たな労働委員会闘争を決断した」「小さくてもいいから自分の職場で現実の労働運動ができた時に、私たちの

訴えは単なる言葉ではなくて数倍の力を帯びて、戦争を止める力になる」と訴えました。

職場において労働者が団結して闘うこそが、なにより大事なことです。国鉄闘争に生命力を吹き込むのは現場の闘いです。

国鉄闘争の5本の柱として、①1047名解雇撤回の新たな闘い、②ローカル線廃止・地方切り捨てとの闘い、③「働き方改革」で無期転換をめぐる闘い、④外注化・分社化・転籍阻止の闘い、⑤常磐線全線開通阻止の闘い……を打ち出し、動労千葉や動労水戸など動労総連合各単

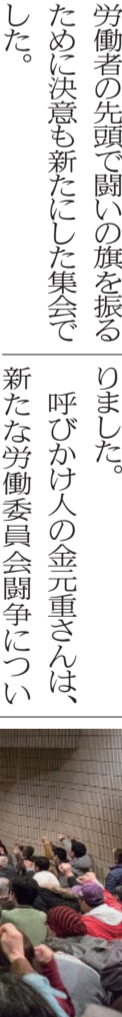
組から闘いの報告と決意が語られました。

その後、JR東日本では、東労組の「指名スト」方針と会社労使共同宣言の破棄によって既に2万人が脱退しました。JR資本は、30年以上にわたる労務政策を転換し「東労組解体」に全面的に踏み出したのです。

国鉄分制・民営化闘争（国鉄闘争）は、その真の決着を付ける情勢が来たのです。国鉄1047名解雇撤回闘争は30年を超えて闘いを継続させ、闘う労働組合が存在してはならないはずの民営化後のJR職場でも、外注化に対する十数年にわたる闘いが継続しています。

今こそ職場には闘う労働組合が必要です。30年にわたって職場の権利と鉄道の安全を守ってきたのは動労千葉ー動労総連合です。すべてのJR労働者に共に闘うこと呼びかけるときです。2・11集会はその新たな出発点をつくりだしました。

（事務局）



（事務局）

（事務局）